



題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。

鹿沼市立西中学校 (氏名) 豊田 主税

命の尊さについて真剣に考える3日間だった。

平和公園では色々な慰霊碑があった。そこには学校のものもあり、たくさんの生徒や先生が原子爆弾によって亡くなったと記されていた。僕たちとほとんど同じ年齢であり、もしも僕が同じ状況にあったらと思うと言葉がでなかった。また当時は医療もあまり発達しておらず原爆の被害が具体的に分からず、火傷などを上手く対処できずにいてとてもつらいと思った。原爆は非人道的なものだと思った。原子爆弾は悪いものだと思っていたが具体的に内容を知ってさらに良く無いものだと感じた。文字だけで知っていたものが写真1枚見るだけで原爆についてのイメージが大きく変わった。みんなに伝えるにはイメージしやすくする必要があった。僕が伝える立場になったらそれを意識したい。

題名 ロシアのウクライナ侵攻に対して考えること。

鹿沼市立西中学校 (氏名) 豊田 主税

僕はロシアがウクライナに軍事侵攻したとき、全くピンとこなかった。自分を含めてまわりのみんなもすぐ終わると思っていただろう。しかし戦争は終わらず、ますます激しくなり、ニュースではたびたび砲撃などにより変わり果てた街が報道された。ただ働き生きていた人が、訳も分からず生活する場を失い、時には死んでいく、同じ時代に起こっているとは思えないほど衝撃的なものだ。自分たちはいつも通りの生活をしている。ウクライナの人たちも前はそうだっただろう。しかし、悲劇は急にやってきた。これは今の日本にもかさなる部分があると思う。今は普通の日常を送っていてもいきなり戦争が起こったりすることもあるのだ。今まで保たれてきた緊張の糸が途切れそうなこの世界で、1人1人が戦争について深く考え、戦争について正しく判断する必要がある。

題名 今日ある日本の平和について考えること。

鹿沼市立西中学校 (氏名) 豊田 主税

今、日本は平和ですかと聞かれたら、はいと答える人が多いだろう。今、世界は平和ですかと聞かれたら、ウクライナやアフリカなどの貧困のこと、いろいろなことを含めて考えると、平和とは言えないだろう。ウクライナの戦争問題のことを考えると、他人事ではない気がする。日本にも隣国との領土問題や北朝鮮のミサイルの問題など、国家間の問題がいくつもあり、それがいつどのように戦争に発展するのか分からない。今の日本はとりあえず平和といったところだろうか。また国内にもイジメ、自殺、ハラスメントなどいろいろな社会問題がある。それに目をつむって平和というのではなく、向き合っ問題を一つ一つ解決する必要がある。そうすれば本当の平和がおとずれれると思う。

題名 あなたにとって「平和な社会」とは何か、「平和な社会」を実現するために必要なこと。

鹿沼市立西中学校 (氏名) 豊田 主税

平和というのは、1人1人の努力の積み重ねによって成立するものだと思う。誰かが引っ張ったら、ぷつりと切れてしまうような繊細なものだと思う。平和は永続的な課題であり、次々と新しい問題が出てくる。この時に1人1人が平和の大切さ、命の尊さについて考える必要がある。なぜ戦争が起こるのか、戦争がもたらすものとは、戦争はどうすればなくなるのか、1人1人が考え努力するべきだ。人間は感情があり、人それぞれ違う意見になることは当然である。よって、国家間や民族の間でいろいろな問題が起こるだろう。その時に、どう解決するかである。暴力で解決する手段をなくすことが平和な社会を実現するために必要なことであり、平和について伝えることが僕たちの役目であると思う。